

ハイテクノロジー & ワイドバリエーション
エキスパンション ジョイント カバー

免震 series

ARCHITECTURAL EXPANSION JOINT

UACJ

エキスパンション ジョイント カバー

免震 series

ARCHITECTURAL EXPANSION JOINT

UACJ金属加工

株式会社UACJ金属加工

営業本部

E-mail:

本 社 / 建材事業部 tok-kanamono@umc.uacj-group.com

大阪支店 / 建材事業部 mik-kanamono@umc.uacj-group.com

URL: <https://umc.uacj-group.com/>

ご用命は当店で

※このカタログの記載内容は2019年11月現在のものです。商品改良のため仕様を変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

無断複製禁止

ハイテクノロジー&ワイドバリエーション

ARCHITECTURAL EXPANSION JOINT

免震 series

エキスパンション ジョイント カバー

免震構造建築物への対応

近年多発する地震に対し、官公庁や病院、学校、通信施設、マンションなど、人々の生活の安定を図るための施設に免震構造が数多く採用されるようになりました。

UACJ金属加工の免震シリーズは、屋根、外壁、天井、内壁、床、犬走り床など、各部位の高機能性と意匠性にも充分配慮した製品です。また、各種特許も取得しています。

免震シリーズはすべて受注生産です。

お客様のあらゆる設計条件に合わせて

仕様を決定し、生産を行います。

詳しくは営業担当者までお問い合わせください。

※本カタログ掲載の製品以外にも様々な形状や機能の
エキスパンション ジョイント カバーにも対応致します。

UACJ金属加工は、エキスパンション
ジョイント カバーのパイオニアです。

- 1971年、弊社は日本の建築業界に初めてレディーメイド
エキスパンション ジョイント カバーを送り出しました。
- 40数年に亘る豊富な経験と技術、そして厳しい
品質管理による一貫生産により、ご満足いただける
エキスパンション ジョイント カバーをお届けしています。
- カタログ中の振動台試験は文部科学省
先端研究施設共用促進事業「京都大学防災研究所
先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」
分散並列型強震応答実験装置施設で行っています。

製作から販売までを
一貫して行います。

- 弊社は、皆様のニーズにお応えするため設計から生産技術・
出荷配送にいたるまで一貫して行い、その品質・機能の
向上に努力しています。
- エクスパンション ジョイント カバーの機能を確認するため、
3次元試験機を駆使し綿密に性能確認を行っています。
- 設計をサポートするため、ホームページでエキスパンション
ジョイント カバーのCADデーターの提供も行っております。



Vシリーズ

クリアランス：50～600ミリ

豊富なアイデア
洗練されたデザイン

1ピース構造で盛り沢山の
アイデアと洗練されたデザイン。
可動量はクリアランスの
完全50%です。



Eシリーズ

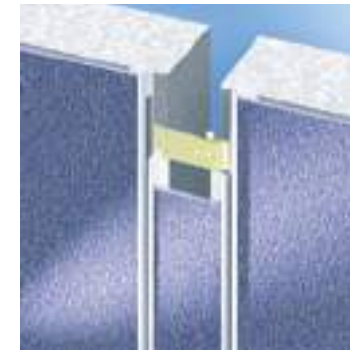
クリアランス：50～200ミリ

Jシリーズ

クリアランス：250～600ミリ

経済性と施工性を重視

可動量をクリアランスの
20～30%程度に抑え
経済性と施工性を重視しました。



Kシリーズ

クリアランス：50～200ミリ

建物の内装意匠を
そこなわない

内装用Kシリーズとして、ご要望の
多いクリアランス50～200mmの
範囲を標準化しました。



タフライト

アルミ形材 プレス嵌合方式
広幅エキスパンション ジョイント カバー

軽量化で作業性が
大幅にアップ

アルミの中空形材を使用することで
大幅な軽量化を図り、現地での
作業性が格段にアップ。

INDEX

実績写真 3～7

施工例

● エレベーター廻り納まり 8

● ジャバラ床 8

● 重荷重床 8

免震建築物用 Exp. J. C. 9～10

可動試験 11

耐火仕様 11

車両用 床Exp. J. C. の荷重条件 12

標準納まり図

● 床シリーズ 13～19

● 壁シリーズ 20～22

● 天井シリーズ 23

● 屋根シリーズ 24

● 手摺シリーズ 25～26

学 校 ①



3

学 校 ②



4

学 校 ③



医療センター



ショッピング
センター



オフィス



工 場



7

ホテル



エレベーター廻り納まり



ジャバラ床



重荷重床



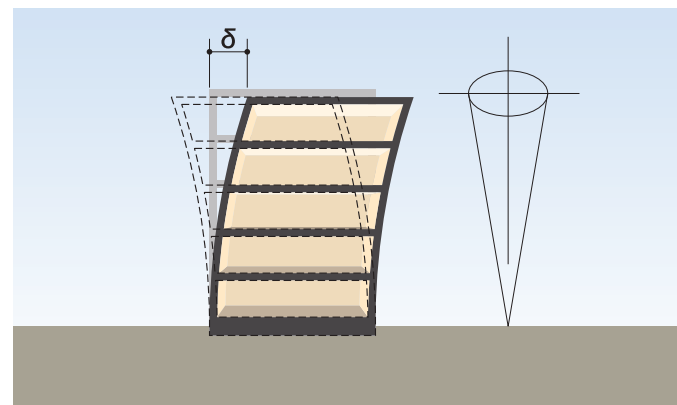
8

エレベーター廻り
ジャバラ床・重荷重床

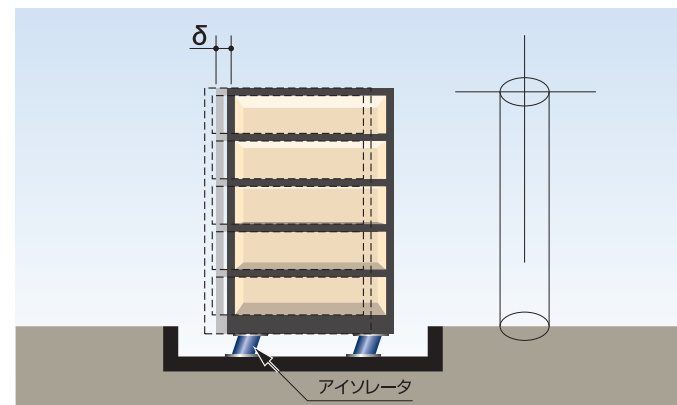
■免震シリーズ Exp. J. C. を簡単にまとめて見ると、次のように分類されます。

1. 建築物の揺れ方の違い（可動量と変位域）

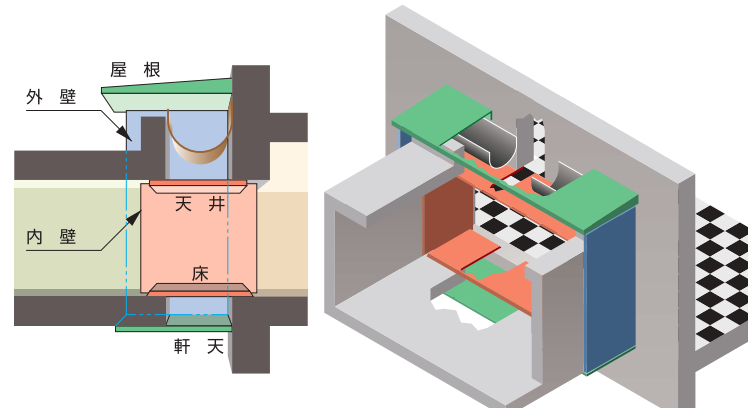
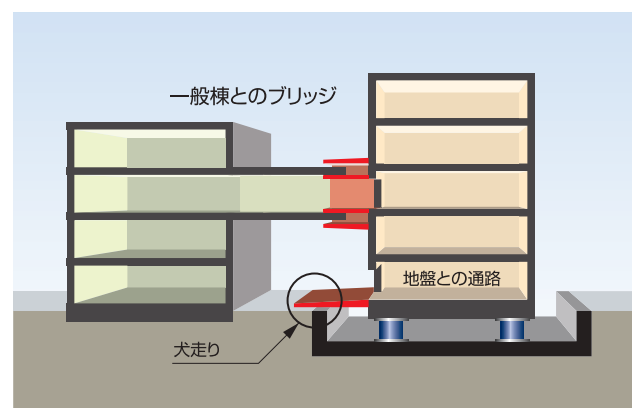
一般建築物



免震建築物 揺れ方が、1/3～1/5 に低減



2. 免震建築物の Exp. J. C. は何処につくか？



3. 従来の Exp. J. C. との違い

タイプ	クリアランス	コーナー部の処理
RM(標準) Exp.J.C.	50～ 200	シール幅で調整するか、簡単な役物で処理する
OM (広幅) Exp.J.C.	250～ 600	シール幅で調整するか、簡単な役物で処理する
免震シリーズ Exp.J.C.	400～1000	可動量は100%なので、完全に逃げるように処理する

■兵庫県南部地震（1995年1月17日5時46分）

当時、関西地区に免震建築物は2棟あり、そのうちの1棟が郵政省のWESTビルでした。WESTビルは1994年11月に完成し、その2ヶ月後に大地震に見まわられました。

WESTビルの状況を地震後、郵政省より発表された講演会資料から転載します。

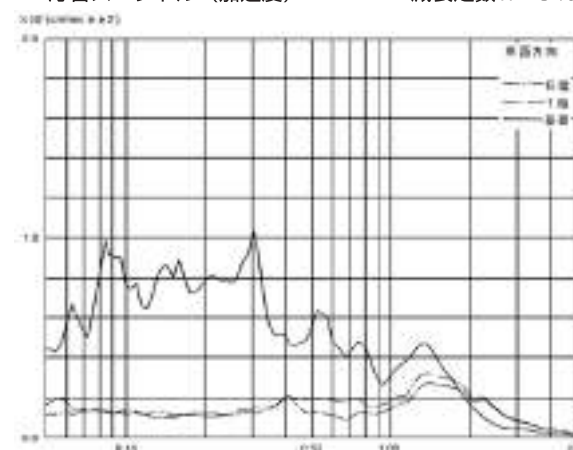
観測記録

1995年1月17日 5時46分（震央地：淡路島北部 規模：M7.2）

〈東西方向〉



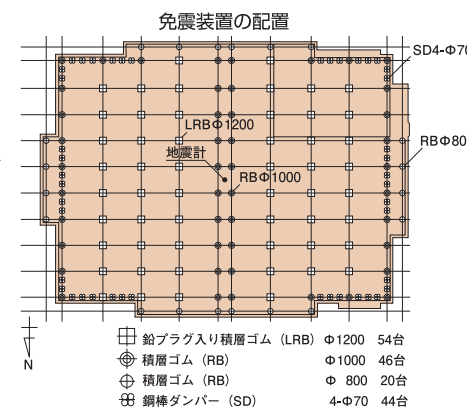
応答スペクトル（加速度）……………減衰定数h=5%



■郵政省 WEST ビル

- エキスパンションのライン上には、耐火帯が設置されており、躯体の形状と可動量を確保するため、複雑な構成となっている。

- 外部側および内部側の壁は、フラット状のアルミ製エキスパンション ジョイント カバーで構成。屋根部は円弧状のアルミ製パネルの底が張り出し、外壁タイプの上部と底の下面が摺動する。



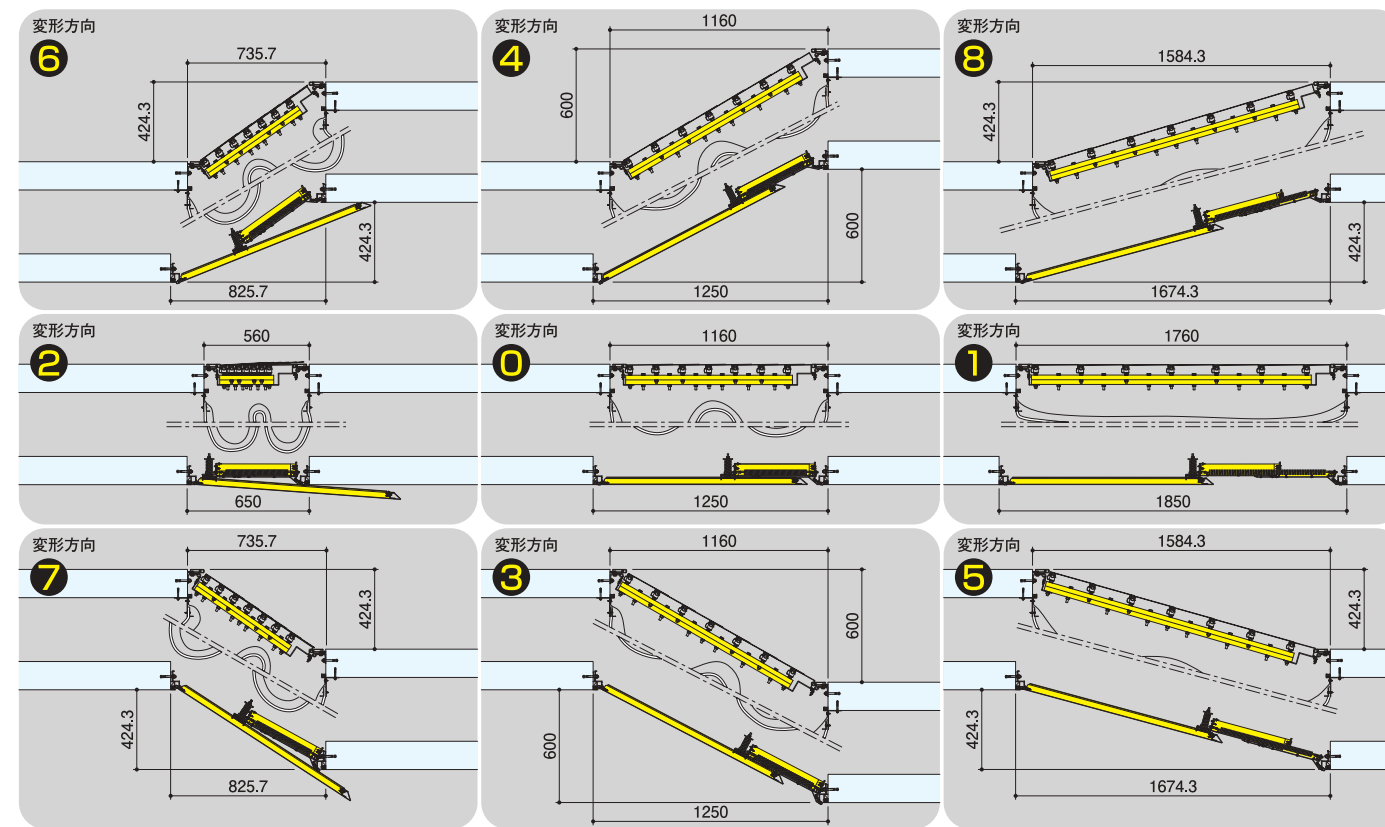
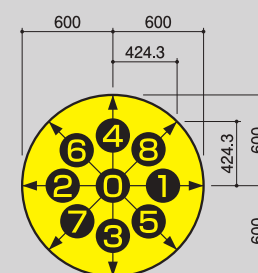
- 兵庫県南部地震においては、兵庫県神戸市北区に位置していたために、エキスパンション部で120mmほど変位が発生したが、本体には異常がなかった。

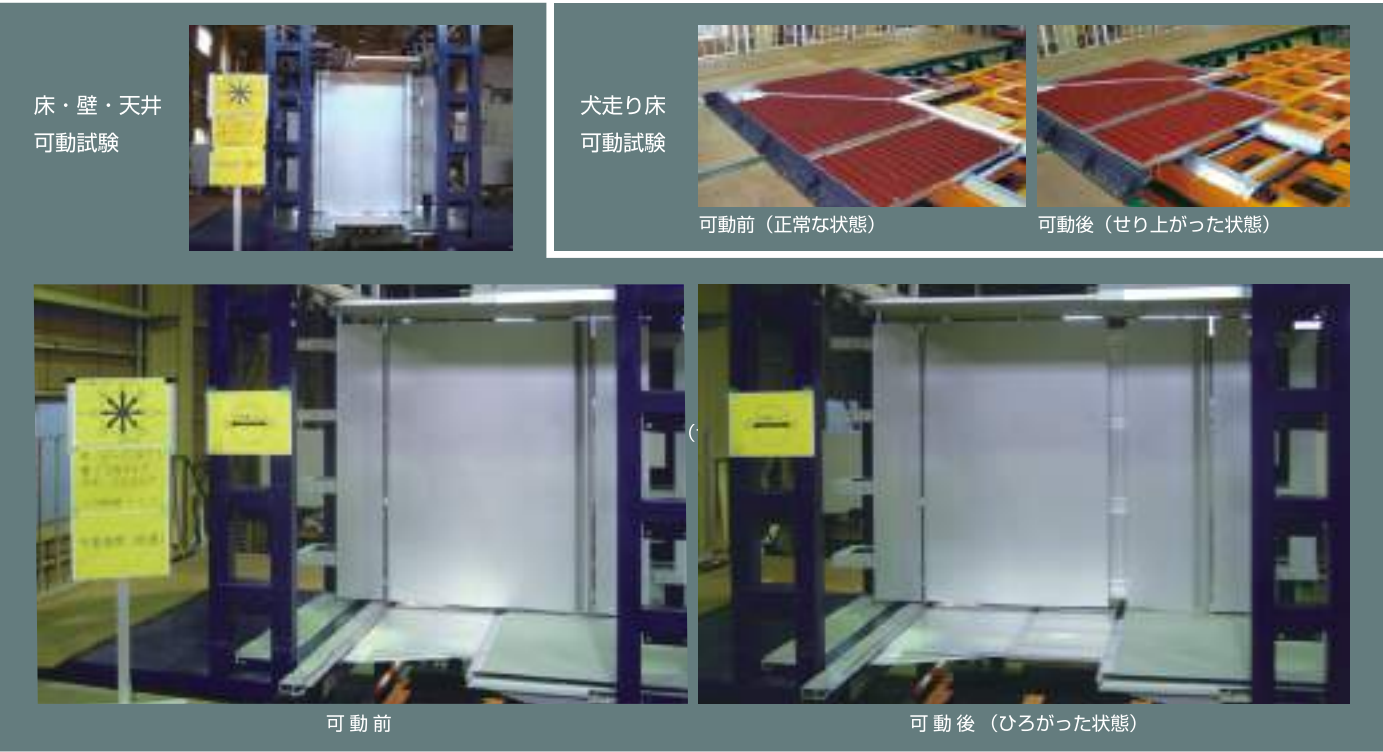
■Exp. J. C. の可動時の状況

壁用エキスパンションジョイントカバー

外壁：FSWタイプ
内壁：SWタイプ
の変形パターン

変形量 360°
水平方向±600





耐火仕様

エクスパンションジョイントのクリアランス部は、建築物を貫通して設けられています。その為、防火上の観点から、その耐火性能は重要な機能となります。特にクリアランスが床部分や防火区画を貫通する時は、エクスパンション本体に耐火帯を取付ける事により、耐火性能を付加させます。当社は、アルミニウム及びステンレスタイプの各種の耐火エクスパンションジョイントカバーについて、日本エクスパンションジョイント工業会の品質審査委員会で審査を受け、適合品番号を取得しています。

※詳しくは日本エクスパンションジョイント工業会のホームページをご参照ください。

●日本エクスパンションジョイント工業会での試験風景

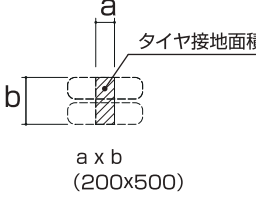
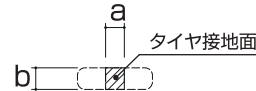
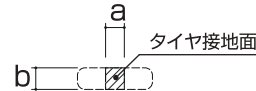
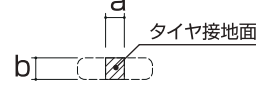


AES（アルカリアースシリケートウール）は【H27.11.1 施行の労働安全衛生法施行令の改正によるRCF（リフラクトリーセラミックファイバー）規制の対象外となる高温用耐火繊維】を使用したエクスパンションジョイント用耐火帯です。

車両用 床 Exp. J. C. の荷重条件

床シリーズ 犬走り床タイプの、通行車両 荷重条件は下表を参照下さい。

●自動車荷重

種別	通行可能車種例	車両総重量 (W)	後輪一輪荷重	タイヤ接地面積 (mm)
T-25	トレーラー・大型車両 はしご付消防車	245kN	100kN	
		(25tf)	(10000kgf)	
T-20	ダンプ 大型バス	196kN	80kN	
		(20tf)	(8000kgf)	
T-14	消防車 ゴミ収集車	139kN	56kN	
		(14tf)	(5600kgf)	
輪荷重 5トン	車両制限令で 規定されている車両	—	50kN	
		—	(5tf)	
T-6	マイクロバス 救急車 普通乗用車	59kN	24kN	
		(6tf)	(2400kgf)	
T-2	小型乗用車	20kN	8kN	
		(2tf)	(800kgf)	

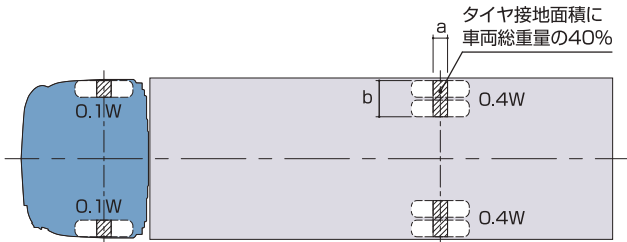
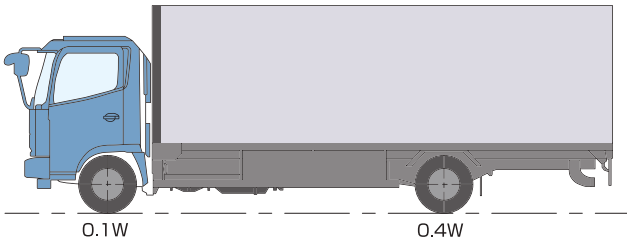
※ 特殊車両・フォークリフトが通行する場合は別途強度検討が必要です。
※ 床Exp. J. C.上の車両通行は徐行を前提としております。減速帯 設置等の徐行対策をお勧めします。
※ 頻繁に駐停車する場所や車が旋回する場所への設置は避けて下さい。
※ 地震発生時に床Exp. J. C.上を車両通行した場合、破損する恐れがあります。

●歩道

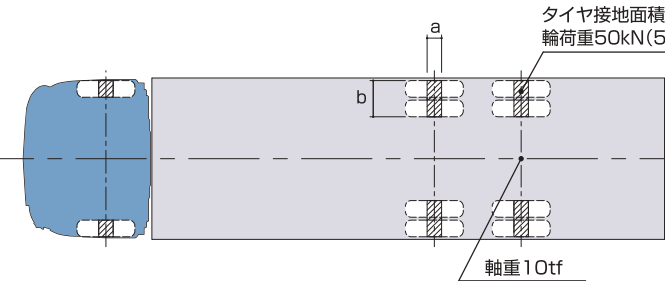
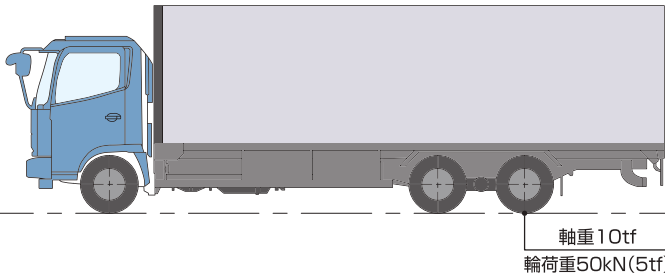
種別	通行例	荷重条件	許容たわみ
歩行用	人の歩行・自転車	5kN/m²の等分布荷重	1/500
		(500kgf/m²の等分布荷重)	

※ 歩道仕様は 道路橋示方書による。
※ 重量台車・重量設備機器等が通行する場合は別途強度検討が必要です。
※ 地震発生時に床Exp. J. C.の可動範囲内に人が立ち入らないよう注意喚起して下さい。

耐荷重T2～T25	道路橋示方書 参考
-----------	-----------



輪荷重5トン	車両制限令第3条 参考
--------	-------------





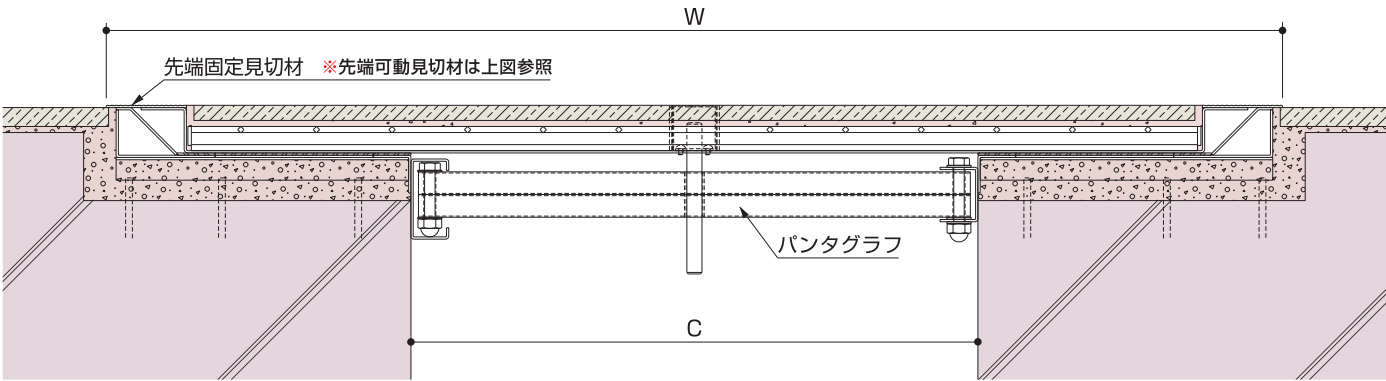
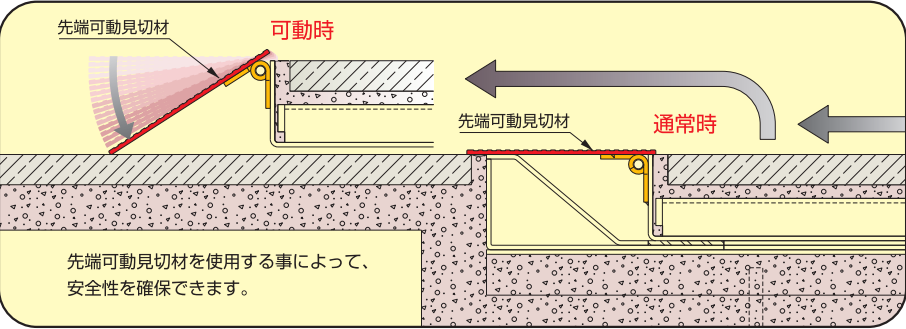
GWFタイプ

加振台試験実施製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	550	1150
500	650	1350
600	750	1550
700	850	1750
800	950	1950

- GWF タイプは、床面をフラットにできます。(但し見切材の板厚分は段差あり)
- パンタグラフの片側をスライド式にすることにより、クリアランスや面幅のサイズを小さくできます。
- 表面は石・タイル・カーペット等の仕上げができます。
- パンタグラフ部品を使用し、可動時にカバープレートを常に中心に維持できます。
- 可動時には床プレートが迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 先端見切材は固定式と、可動式の「先端可動見切材」の2種類があります。
- 両側に可動するので、柱やサッシが際にある場合は使用できません。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 壁との取合い部は可動構造の役物 Exp.J.C. 又は壁部にスリットが必要です。

先端可動見切材

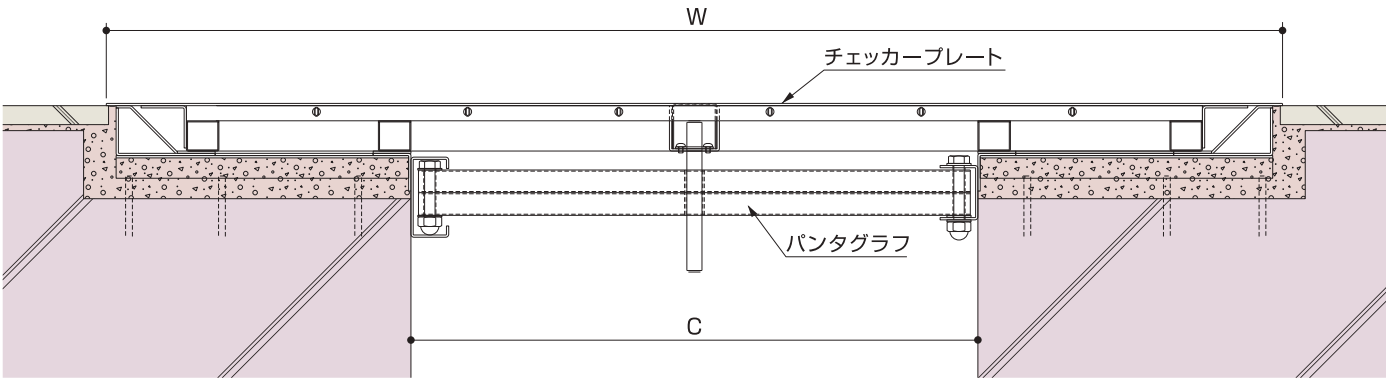


GWPFタイプ

加振台試験準拠製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	550	1150
500	650	1350
600	750	1550
700	850	1750
800	950	1950

- GWPF タイプは、床面をフラットにできます。(但しチェッカープレートの板厚分は段差あり)
- パンタグラフの片側をスライド式にすることにより、クリアランスや面幅のサイズを小さくできます。
- 表面はチェッカープレート仕上げです。(St,SUS どちらも可)
- パンタグラフ部品を使用し、可動時にカバープレートを常に中心に維持できます。
- 可動時には床プレートが迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 両側に可動するので、柱やサッシが際にある場合は使用できません。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 壁との取合い部は可動構造の役物 Exp.J.C. 又は壁部にスリットが必要です。

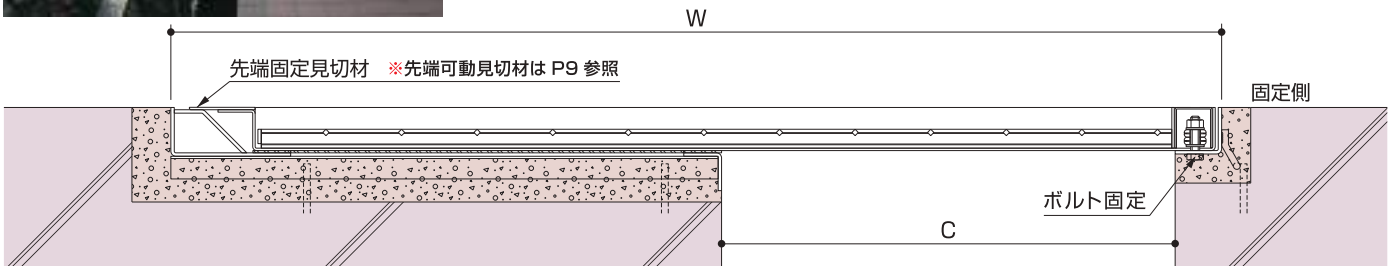


GKFタイプ

振動台試験実施製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	400	1000
500	500	1200
600	600	1400
700	700	1600
800	800	1800

- 床面をフラットにできます。(但し見切材の板厚分は段差あり)
- 表面は石・タイル・カーペット等の仕上げができます。
- 可動時には見切材側が迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 片側可動なので、固定側に柱やサッシがあっても問題ありません。
- 先端見切材は固定式と、可動式の「先端可動見切材」の2種類があります。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 壁との取合い部は可動構造の役物 Exp.J.C. 又は壁部にスリットが必要です。



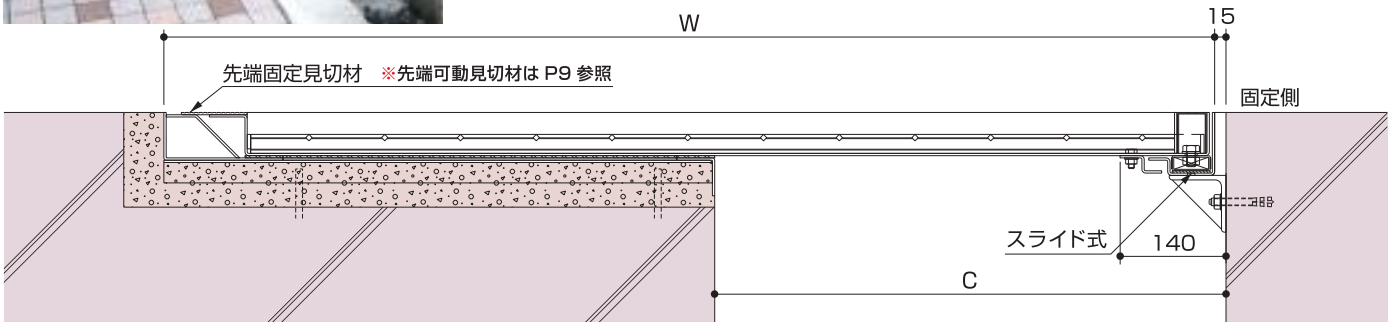
GSF-Nタイプ

振動台試験実施製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	540	1070
500	640	1270
600	740	1470
700	840	1670
800	940	1870

- 床面をフラットにできます。(但し見切材の板厚分は段差あり)
- 表面は石・タイル・カーペット等の仕上げができます。
- 可動時には見切材側が迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 片側可動なのでスライド式固定側に柱やサッシ等があっても問題ありません。
- 先端見切材は固定式と、可動式の「先端可動見切材」の2種類があります。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 端部の可動役物は不要です。
- 平面的にクランクがある場合はスライド式の効果はありません。その場合は、固定式 GKF タイプを使用してください。

※加振台試験実施品 GSF タイプもあります。
(スライド部形状は GSPF タイプとなります。)

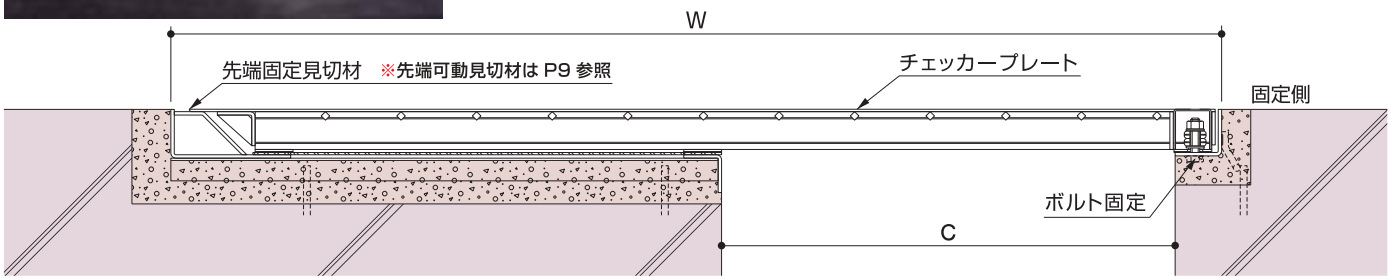


GKPFタイプ

振動台試験準拠製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	400	1000
500	500	1200
600	600	1400
700	700	1600
800	800	1800

- 床面をフラットにできます。(但し、チェッカープレートの板厚分段差あり)
- 表面はチェッカープレート仕上げです。(St, SUS どちらも可)
- 可動時には見切材側が迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 片側可動なのでスライド式固定側に柱やサッシ等があっても問題ありません。
- 先端見切材は固定式と、可動式の「先端可動見切材」の2種類があります。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 壁との取合い部は可動構造の役物 Exp.J.C. 又は壁部にスリットが必要です。



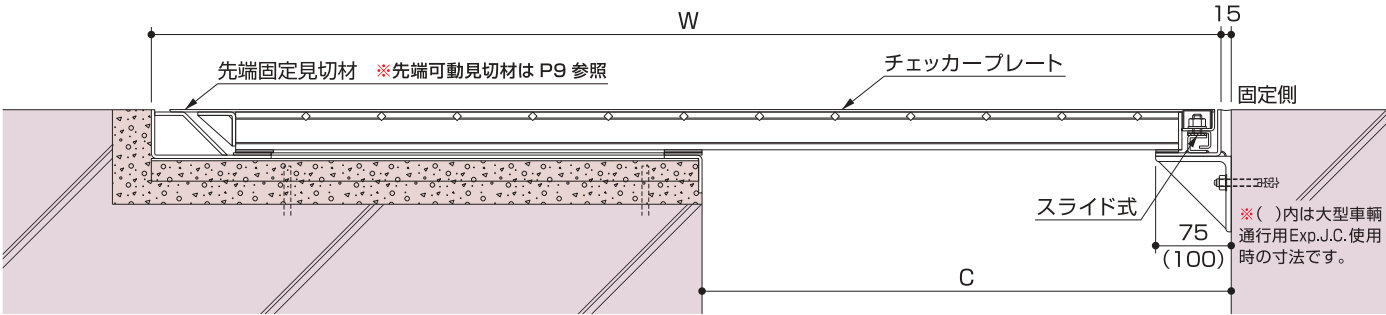


GSPFタイプ

加振台試験準拠製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	475 (500)	1000
500	575 (600)	1200
600	675 (700)	1400
700	775 (800)	1600
800	875 (900)	1800

- 床面をフラットにできます。
(但し、チェッカープレートの板厚部分段差あり)
- 表面はチェッカープレート仕上げです。(St、SUS どちらも可)
- 可動時には見切材側が迫り上がったり、谷間が生じたりします。
- 片側可動なのでスライド式固定側に柱やサッシがあっても問題ありません。
- 先端見切材は固定式と、可動式の「先端可動見切材」の2種類があります。
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。
- 端部の役物は不要です。
- 平面的にクランクがある場合はスライド式の効果はありません。(固定式を採用する)その場合は、固定式 GKPF タイプを使用してください。

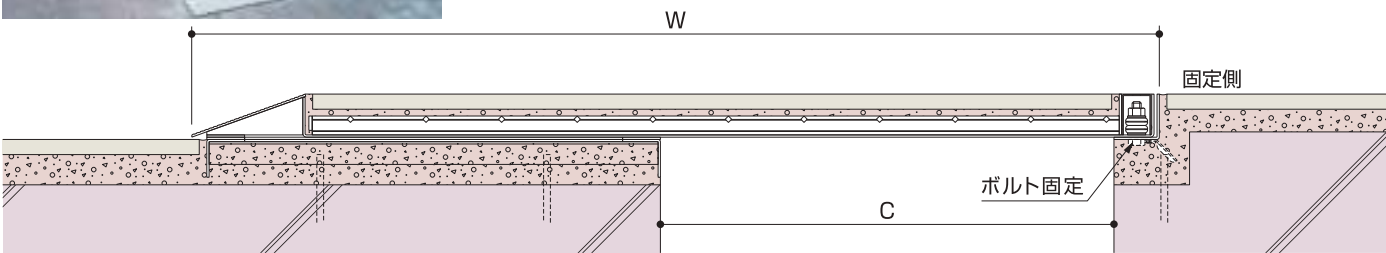


GKDFタイプ

振動台試験準拠製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	400	900
500	500	1100
600	600	1300
700	700	1500
800	800	1700

- 表面は石・タイル等で仕上げができます。
- 耐荷重に応じて補強寸法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。

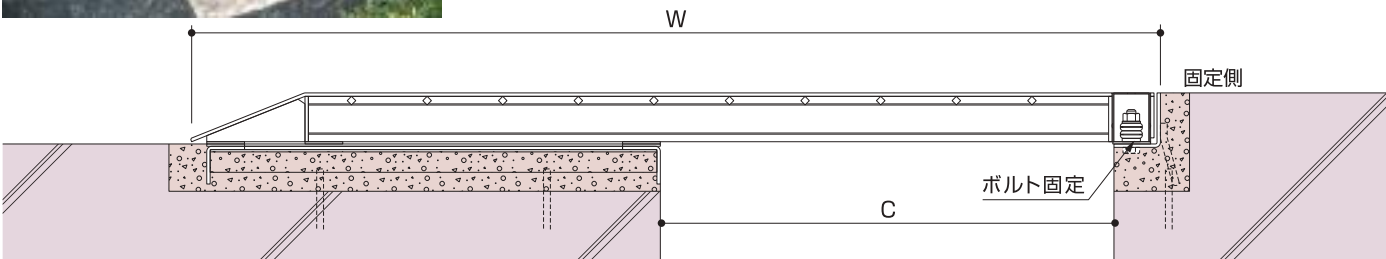


GKDPFタイプ

振動台試験準拠製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	400	900
500	500	1100
600	600	1300
700	700	1500
800	800	1700

- 表面はチェッカープレート仕上げです。
(St、SUS どちらも可)
- 耐荷重に応じて補強方法が異なるので、耐荷重の設定が必要です。

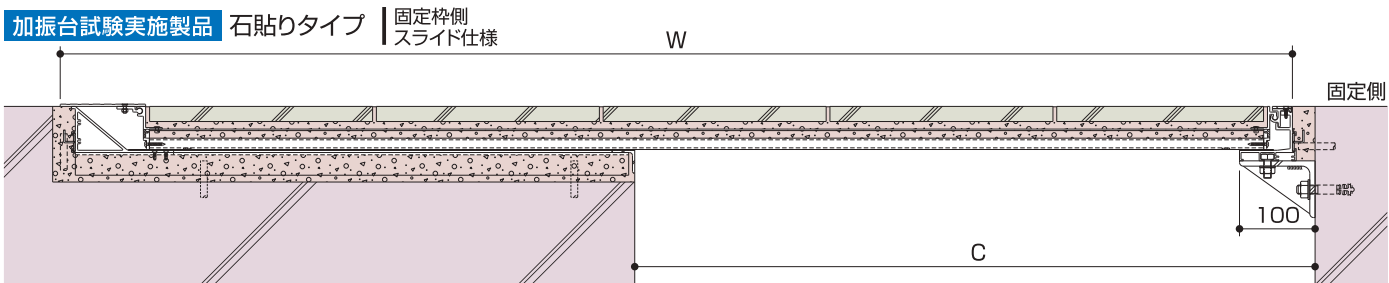
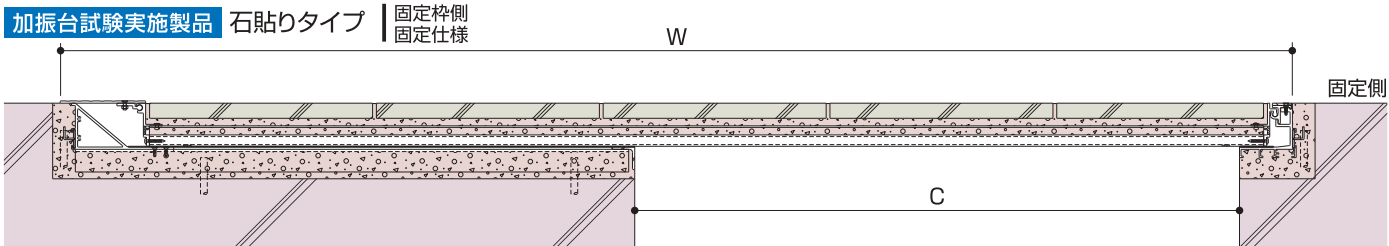
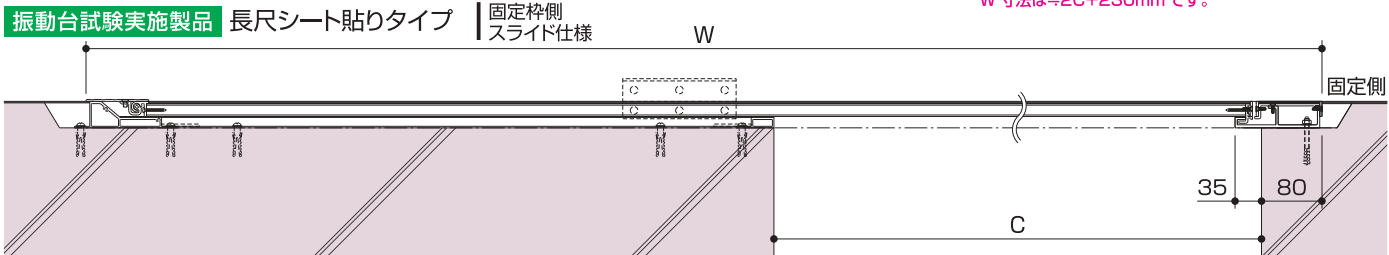


TLタイプ(歩行用)

製品寸法 (mm) ※長尺シート貼りタイプの場合		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
250	285	725
300	335	825
400	435	1025
500	535	1225
600	635	1425
700	735	1625
800	835	1825
900	935	2025
1000	1035	2225
1100	1135	2425
1200	1235	2625

- アルミ中空形材の嵌合式床で、丈夫で軽量のタイプです。
- 床面はフラットで、表面にタイルカーペットや長尺シートや石貼りの仕上げができます。
(但し見切材の板厚分 3mm は段差あり)
- 片側可動なので固定側に柱やサッシがあっても問題ありません。但し可動側には可動範囲内に障害物がないようにしてください。
- T-2 車輛用も用意しております。
(普通乗用車 1 トン車以下総重量 2,000kgf)

※石貼りタイプのクリアランスは
固定仕様：400～800mm、
スライド仕様：500～900mm です。
W 寸法は≒2C+230mm です。

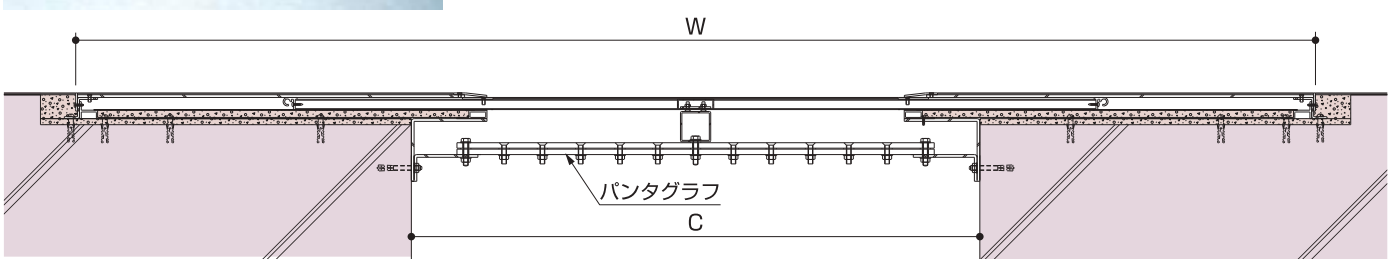


PF-1タイプ

振動台試験実施製品

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	750	1450
500	850	1750
600	950	2050
700	1050	2350
800	1150	2650

- 床面はほぼフラットで、表面にタイルカーペットや長尺シート等の仕上げができます。
- 中央カバーと縁材の接触部に多少段差を生じます。(3～9mm)
※バリアフリー仕様にも対応できます。
- 両端可動の挟み込み構造なので可動時に床にすき間が生じたり、せり上がることはありません。
- パンタグラフ部品を使用し、可動時にカバープレートを常に中心に維持できます。
- 壁との取合い部は可動構造の役物が必要です。



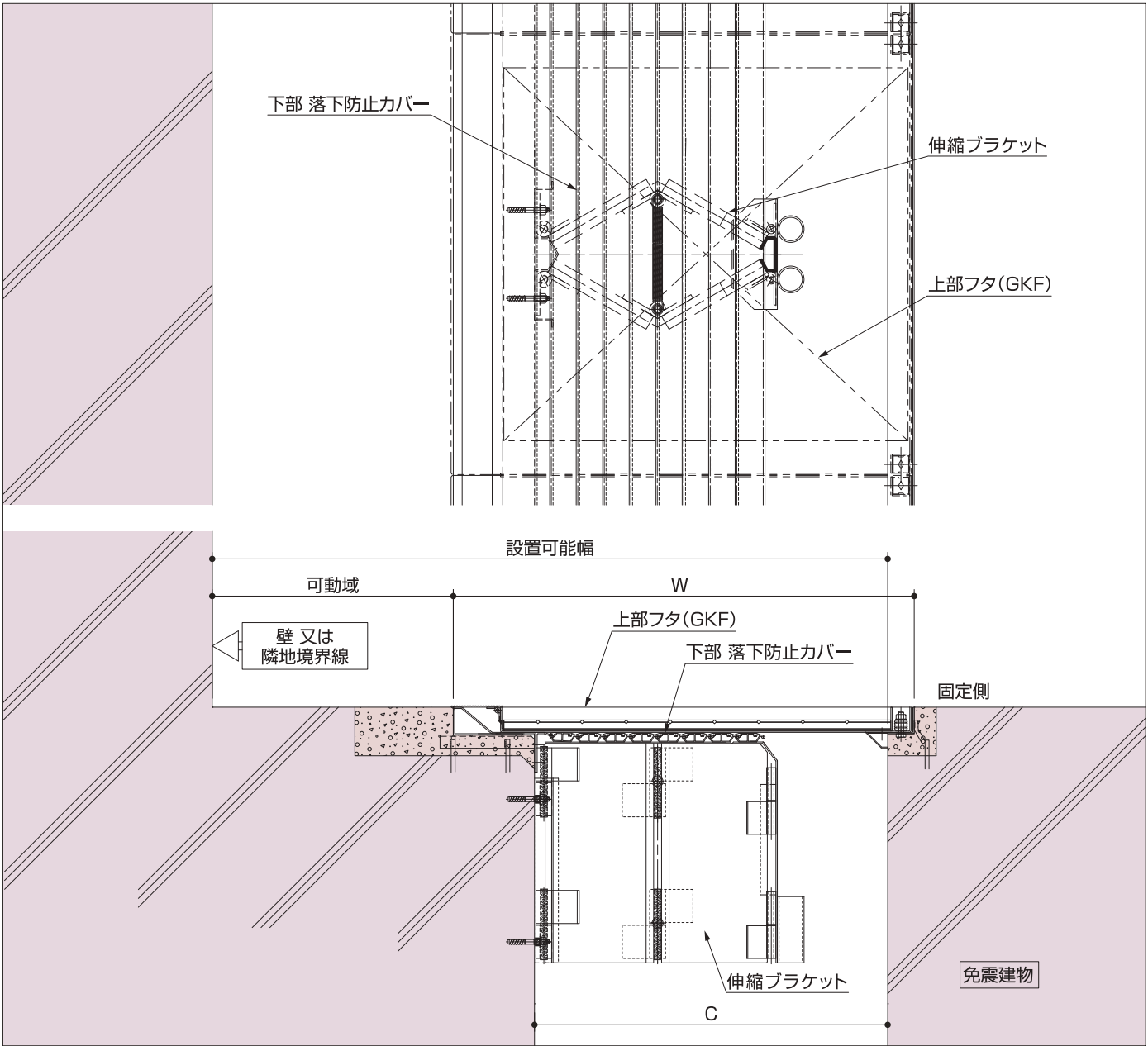


落下防止カバータイプ(GKF) 振動台試験実施製品

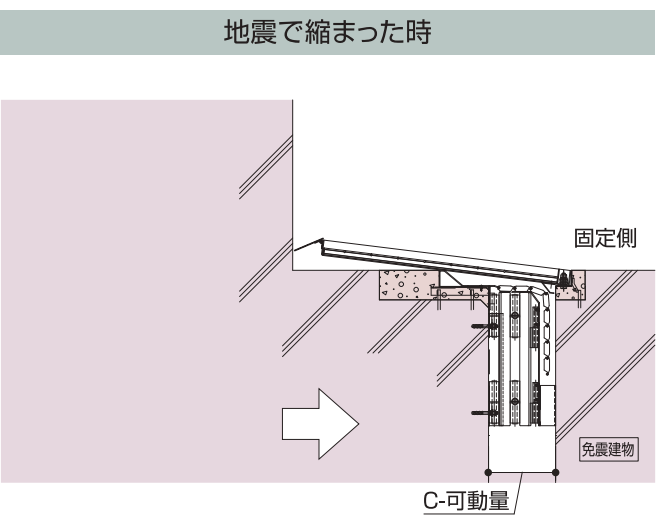
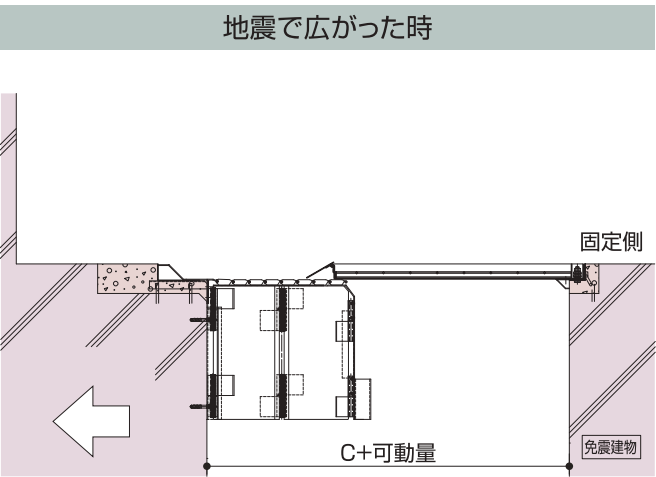
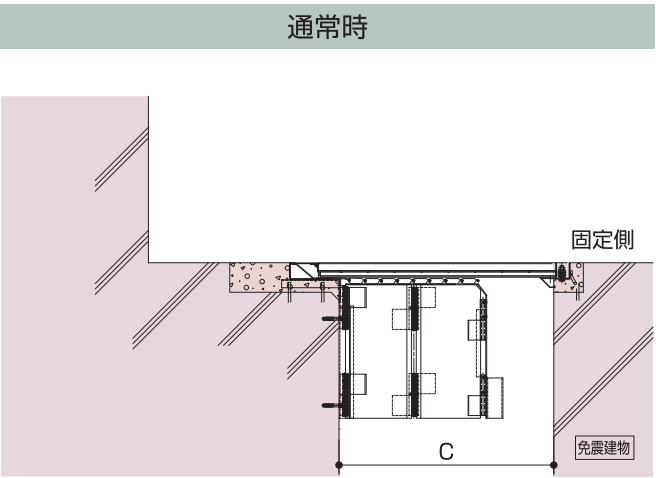
- 一般 EXP.J タイプでは設置出来ない狭い幅に設置が可能です。
- 上部フタと下部 落下防止カバーとで構成され、開口が広がった時は、上部フタと下部 落下防止カバーとで開口を塞ぎ、人の落下を防ぎます。縮まった時は下部 落下防止カバーが変形追随し、可動量を確保します。
- 上部フタに GKF タイプを使う事で、床面をフラットに出来ます。
- 犬走り等の開口についても設置が可能です。



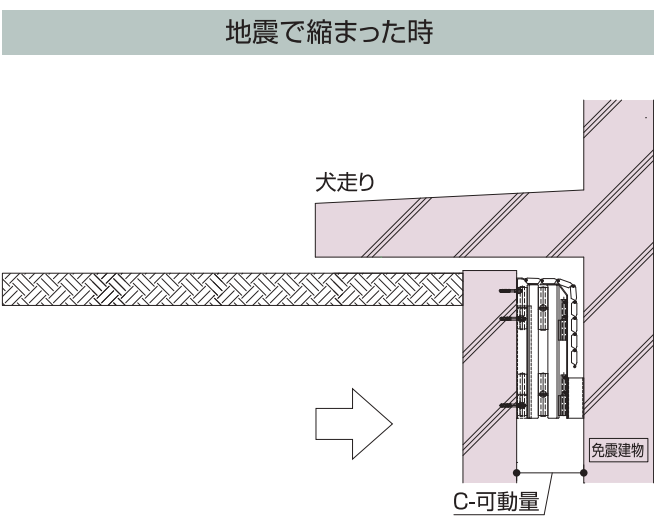
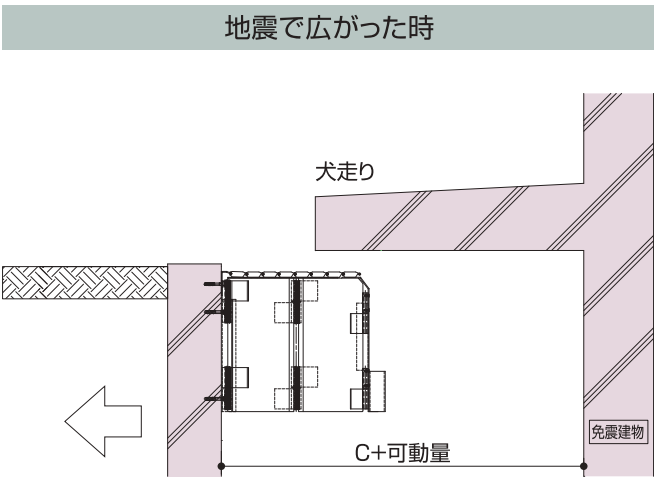
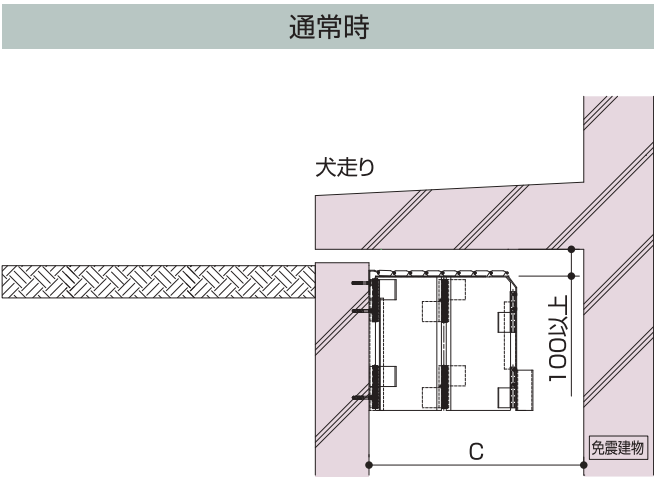
■製品寸法 (mm) (面幅・設置可能幅は参考寸法です。)			
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)	設置可能幅
400	650	900	1230以上
500	750	1000	1430以上
600	850	1100	1630以上
700	950	1200	1830以上
800	1050	1300	2030以上

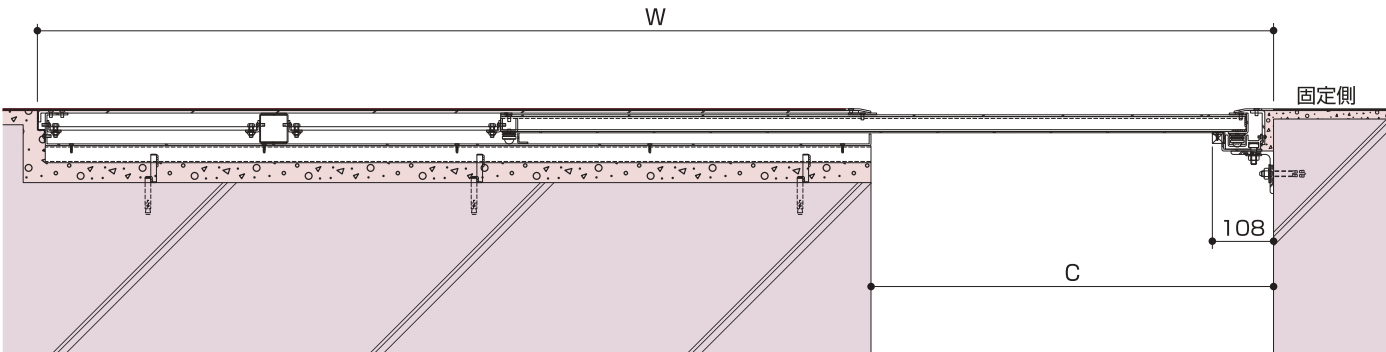
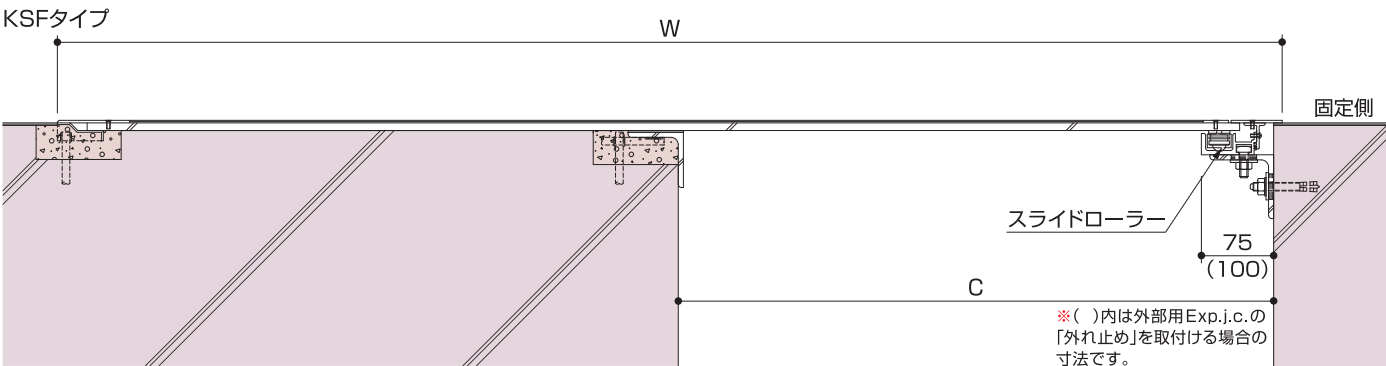
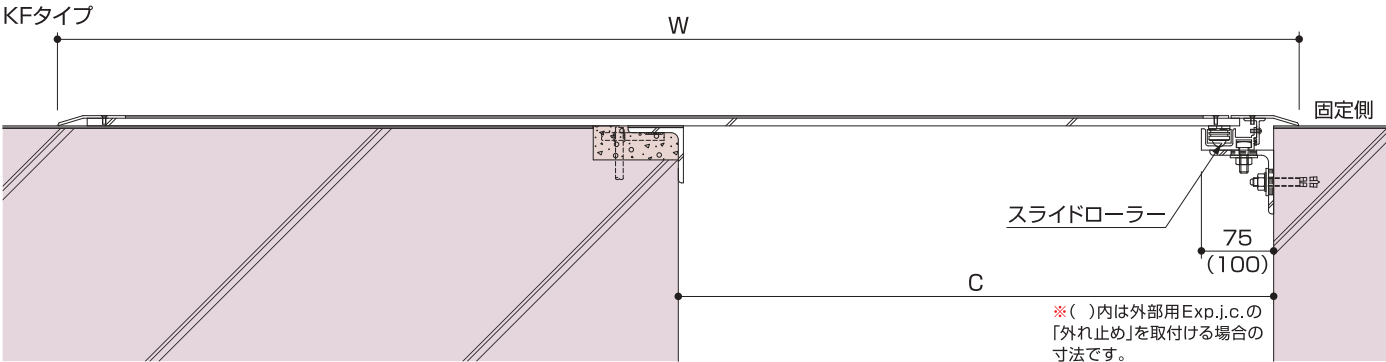


落下防止カバーと床GKFとの組合せ納まり



犬走り部に落下防止カバー取付け納まり





KFタイプ・KSFタイプ 振動台試験準拠製品

- KFタイプは、床プレートにはタイルカーペットや長尺シートの仕上げができます。
- KSFタイプは、KFを床プレート厚み分沈めて、床面をフラットにしました。(但し見切材の板厚分は段差あり)
- 床仕上面と、Exp.J.C.床プレートに段差を生じます。(KFタイプ：9～12mm・KSFタイプ：3mm)
- PFタイプに比べて、W寸法を小さくできます。
- 片側可動なのでスライド式固定側に柱やサッシがあっても問題ありません。但し可動側には可動範囲内に障害物がないようにしてください。

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	475 (500)	1060
500	575 (600)	1260
600	675 (700)	1460
700	775 (800)	1660
800	875 (900)	1860

SF-Nタイプ 振動台試験実施製品

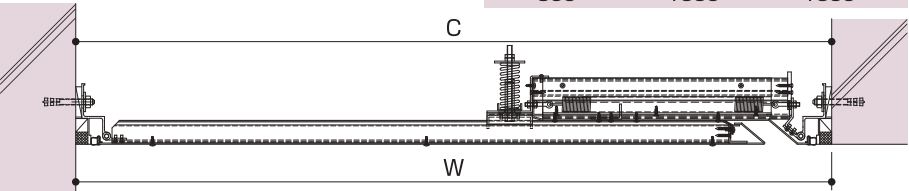
- 床面はほぼフラットで、表面にタイルカーペットや長尺シート等の仕上げができます。
- 中央カバーと縁材の接触部に多少段差を生じます。(3～9mm)
- ※バリアフリー仕様にも対応できます。
- 挟み込み構造なので可動時に床にすき間が生じたり、せり上がることはありません。
- 片側可動なので固定側に柱やサッシがあっても問題はありません。

製品寸法 (mm) (面幅は参考寸法です。)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	510	1580
500	610	1880
600	710	2180
700	810	2480
800	910	2780



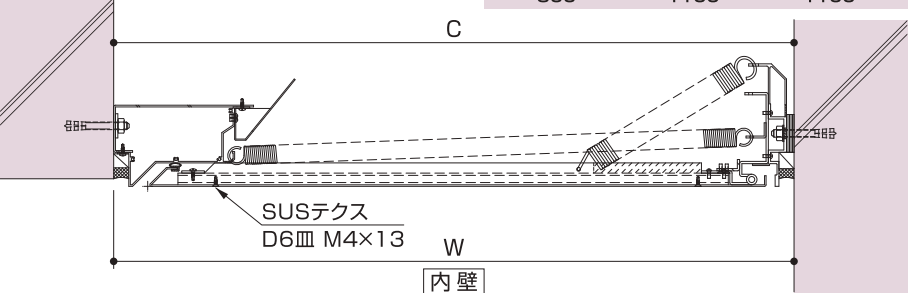
FSWタイプ 振動台試験実施製品

- 外壁・内壁用タイプです。
- ヒンジと引ばねを利用したせり上がりタイプです。
- 仕上面がフラットになるので意匠性にも優れ、スムーズに可動します。
- 可動時に開口内に隙間が生じません。



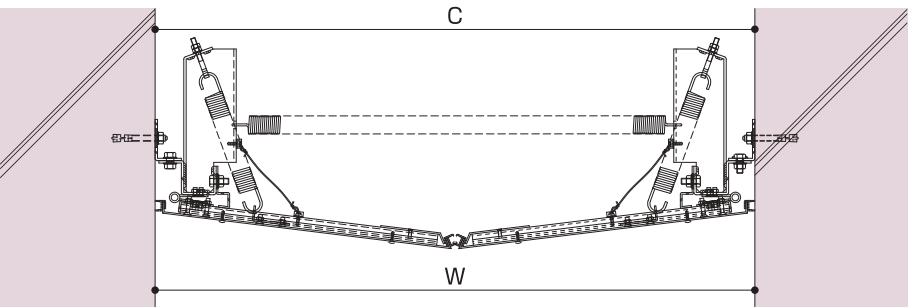
FCAタイプ 加振台試験実施製品

- 人の通行が少ない場所の内壁用タイプです。
- ヒンジと引ばねを利用した片側可動のせり上がり扉タイプです。
- 仕上面がフラットになるので意匠性にも優れ、スムーズに可動します。
- 可動時に開口が広がった場合はすき間が生じます。



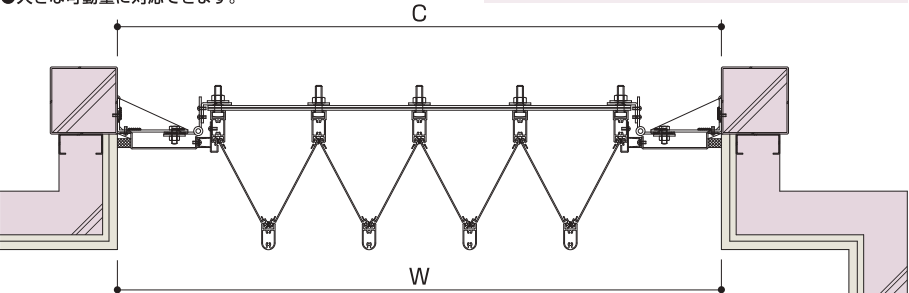
RHタイプ 加振台試験実施製品

- ヒンジと引きばねを利用した両側可動の扉タイプです。
- 開口内に納まり小さな開口で大きな可動量がとれます。
- 可動時に開口が広がった場合はすき間が生じます。



MJタイプ 振動台試験実施製品

- ピニオン形状したアルミ材にパンタグラフ及びヒンジ部品を利用したジャバラタイプです。
- 開口内に納まり、開口内で可動します。
- 可動時、開口内にすき間が生じません。
- 大きな可動量に対応できます。



製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	950	950
500	1100	1100
600	1250	1250
700	1400	1400
800	1550	1550

製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	700	700
500	800	800
600	900	900
700	1000	1000
800	1100	1100

製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
500	800	800
600	900	900
700	1000	1000
800	1100	1100

製品寸法 (mm)			
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)	備考
250	550	550	2連
500	850	850	4連
700	1150	1150	6連
1000	1450	1450	8連

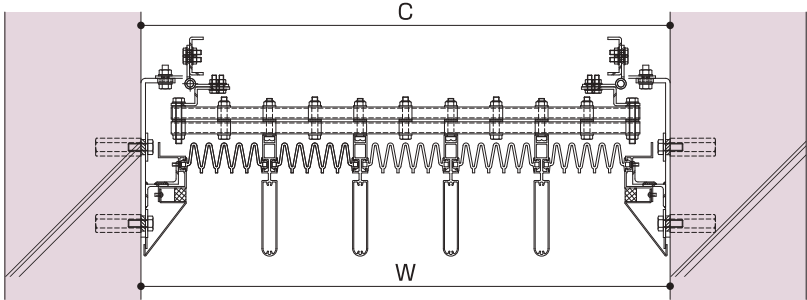


KTAタイプ

振動台試験準拠製品

- アルミ格子間に伸縮ゴムを組み合わせてパンタグラフとヒンジ部品を利用したタイプです。
- 格子等の意匠ができます。
- 開口内に納まり、開口内で可動します。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

■製品寸法 (mm)			
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)	備考
300	700	700	4連
450	940	940	6連
600	1180	1180	8連

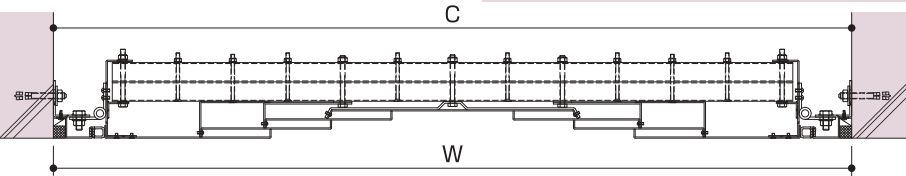


ISタイプ

振動台試験実施製品

- 多段式のパネルとパンタグラフ及びヒンジ部品を利用したタイプです。
- 常に中板が中央に位置し、意匠性を高めます。
- 開口内に納まり、開口内で可動します。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

■製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	920	920
500	1120	1120
600	1320	1320
700	1520	1520
800	1720	1720

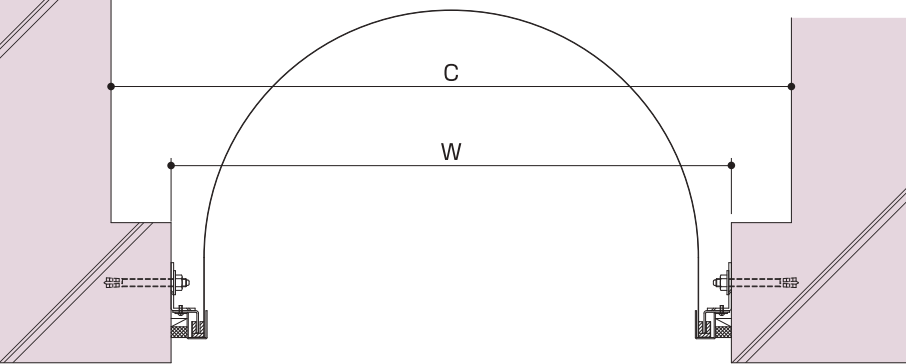


MUタイプ

加振台試験実施製品

- 薄板と形状の特性を利用したタイプです。
- 開口内に納まり、小さな開口で大きな可動量がとれます。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

■製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	700	550
500	800	650
600	900	750
700	1000	850

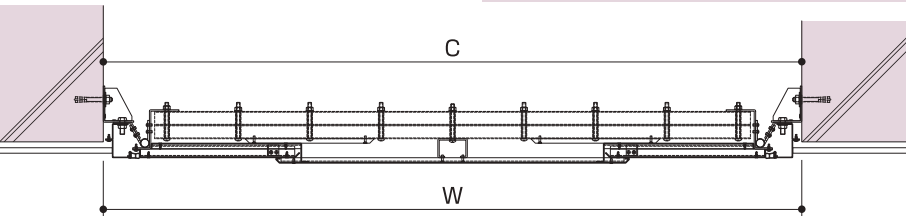


FS-Nタイプ

振動台試験実施製品

- パンタグラフとヒンジ部品を利用したタイプです。
- 開口内に納まり、開口内で可動します。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

■製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	1140	1140
500	1340	1340
600	1540	1540
700	1740	1740
800	1940	1940

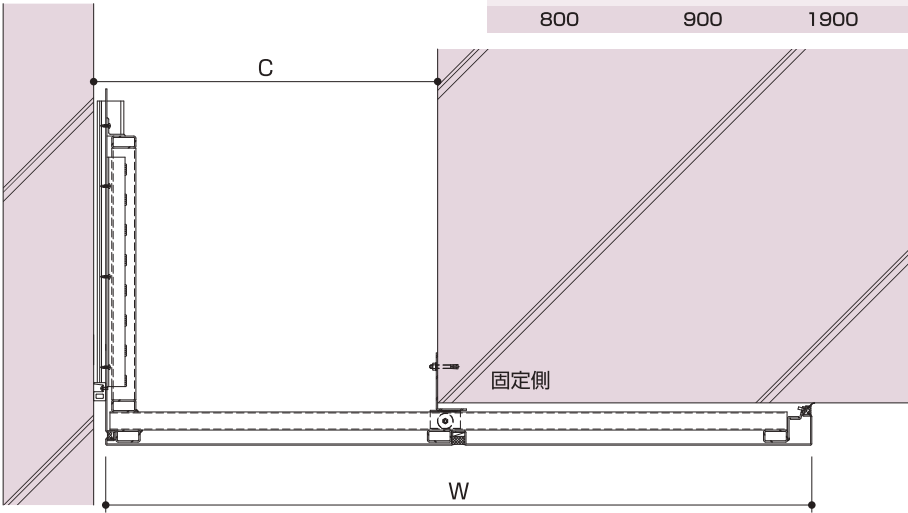


SSタイプ

加振台試験実施製品

- 両側のスライドレールとローラーを使用したスライドタイプです。
- 壁の角度は 90°、又は 180° が必要です。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。
- 可動内で壁面に凸部があると当たるので注意してください。

■製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	500	1100
500	600	1300
600	700	1500
700	800	1700
800	900	1900

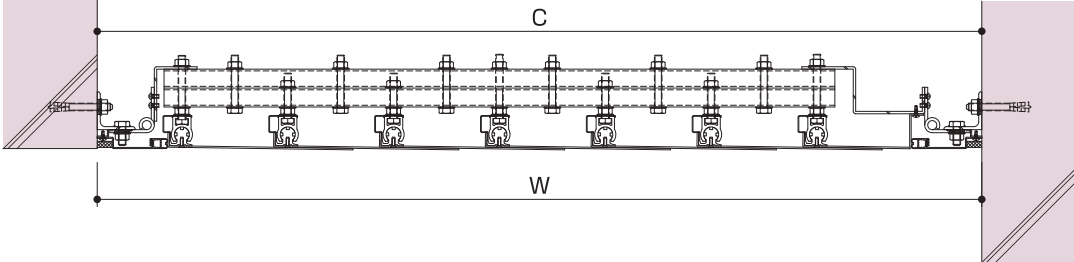


SWタイプ

振動台試験実施製品

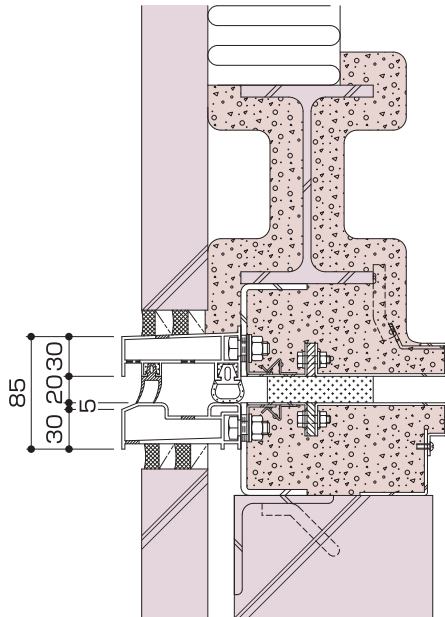
- 多段式のパネルとパンタグラフおよびヒンジ部品を利用したタイプです。
- 開口内に納まり開口内で可動します。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

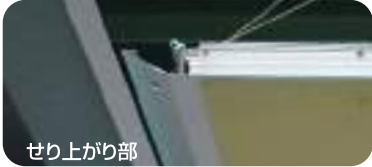
■製品寸法 (mm)		
可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
500	1100	1100
600	1200	1200
700	1400	1400
800	1500	1500



スリット目地タイプ

- スリット目地タイプにより、中間免震構造に最適です。
- 可動量は免震装置の移動量に追従します。



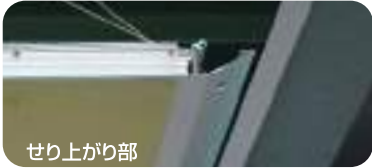


FC-1タイプ

振動台試験実施製品

- ヒンジと上吊りを利用した残留対応型タイプです。
- 天井面がフラットになり、Exp.J.C. 部分にも仕上材が貼れてスッキリと納まります。
- 可動時には本体が天井上部に持ち上げられます。
- 片側に壁がある場合は、KFC タイプを利用してください。

製品寸法 (mm)	可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	1300	500	
500	1500	600	
600	1700	700	
700	1900	800	
800	2100	900	



KFC-1タイプ

振動台試験実施製品

- ヒンジ、スライドレール、上吊りを利用した残留対応型タイプです。
- 天井面がフラットになり、Exp.J.C. 部分にも仕上材が貼れてスッキリと納まります。
- 可動時に天井内にせり上がったり、すき間が生じたりします。

製品寸法 (mm)	可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	1170	500	
500	1370	600	
600	1570	700	
700	1770	800	
800	1970	900	



SCタイプ

振動台試験実施製品

- ローラーを利用したスライドタイプです。
- 天井カバープレートは壁仕上内で納まり、可動役物も不要でスッキリと納まります。
- 可動時に開口内にすき間が生じません。

製品寸法 (mm)	可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	590	1055	
500	690	1255	
600	790	1455	
700	890	1655	
800	990	1855	



KCタイプ

振動台試験実施製品

- 片側固定の持ち出し式タイプです。
- 入隅壁との取合い部は、可動構造の役物タイプ又は壁部にスリットが必要です。

製品寸法 (mm)	可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	700	800	
500	850	950	
600	950	1050	
700	1050	1150	
800	1150	1250	



製品寸法 (mm)

可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	500	800
500	600	900
600	700	1000
700	800	1100
800	900	1200

MRタイプ

振動台試験準拠製品

- 片持ち屋根カバーと水切受とのパッキンを介したスライド式タイプです。
- 片流れ屋根カバーです。



製品寸法 (mm)

可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	500	1100
500	600	1200
600	750	1300
700	850	1400
800	950	1500

FRタイプ

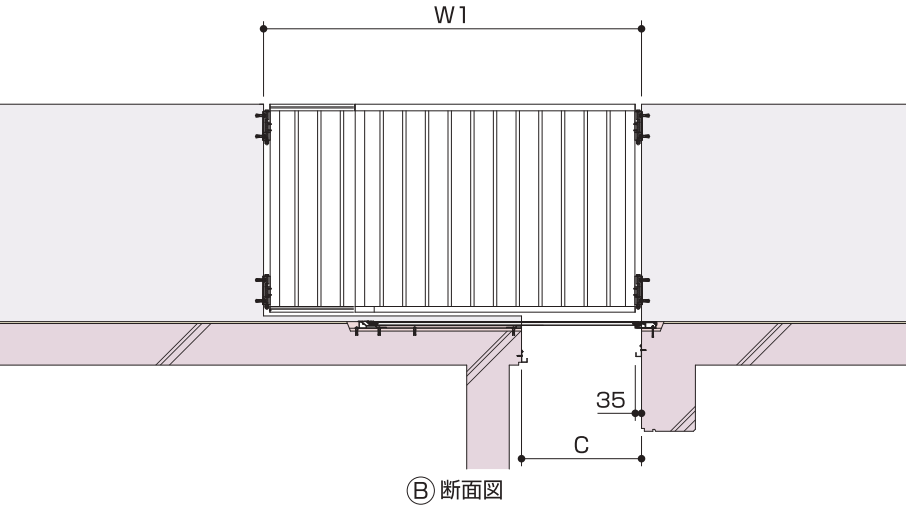
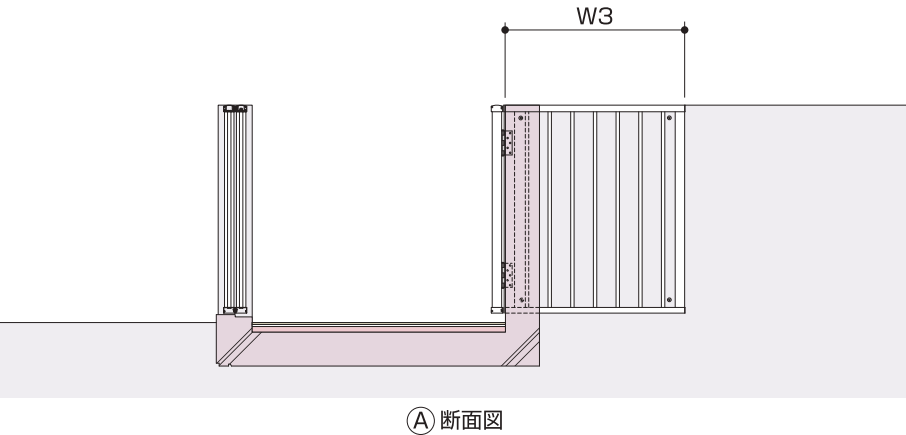
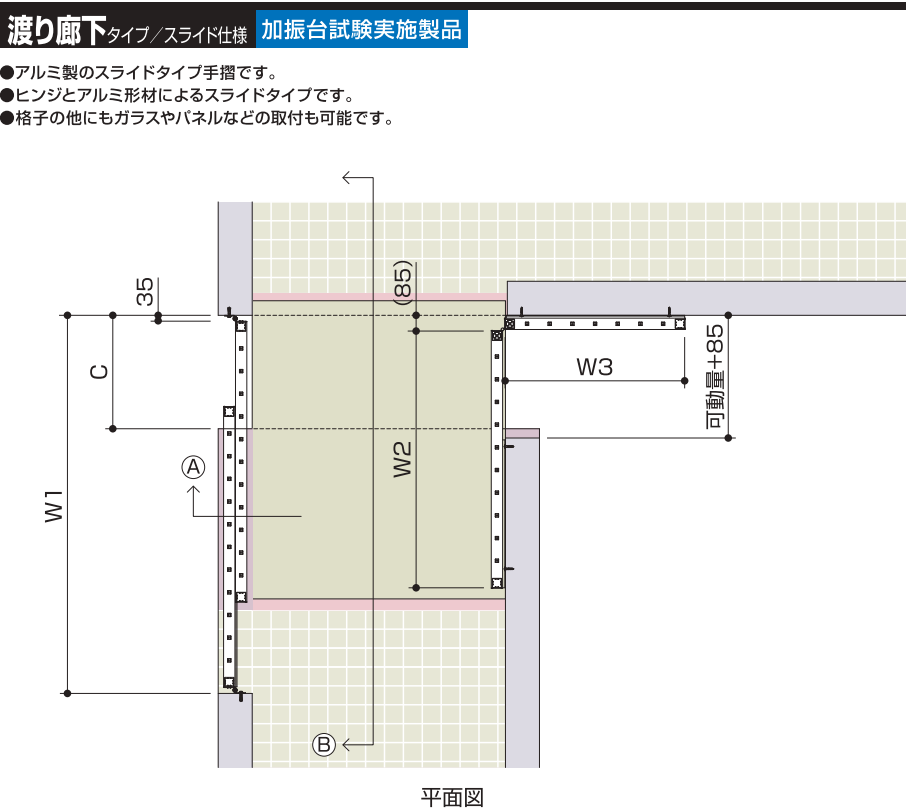
振動台試験準拠製品

- 片持ち屋根カバーと水切受とのパッキンを介したスライド式タイプです。
- 両流れ屋根カバーです。



■製品寸法 (mm) ※床面 TLタイプ使用の場合

可動量	クリアランス(C)	面幅(W1)	面幅(W2)	面幅(W3)
400	435	1400	850	450
500	535	1700	1050	550
600	635	2000	1250	650
700	735	2300	1450	750
800	835	2600	1650	850



■製品寸法 (mm)

可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	710	1160
500	860	1410
600	1010	1660
700	1160	1910
800	1310	2160



■製品寸法 (mm)

可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	1650	1650
500	1950	1950
600	2250	2250
700	2550	2550
800	2850	2850



■製品寸法 (mm)

可動量	クリアランス(C)	面幅(W)
400	1650	1650
500	1950	1950
600	2250	2250
700	2550	2550
800	2850	2850

